労働組合で声をあげよう!

合は 環 ず うと も 境 abla労み 私 たちは い働なさ や働 でく者の 史 労 合に加かかは何 働 あ i 条件を が。 J R の る U 加入 \subset 労 一場で職場 も 61 副組合でも 分 良 労 し ま ず。 たり < 働 か 組 5

ま は

職場 せ 声 をあ h_{\circ} げ ないと 場 C の

いる事などあればぜひ言っ 労働条件を改善しよう! を良くするた 変わ 木 って めに 9 悩 談 ま に 皆

私たちは個 軽に相 て なるように改 情報をしっか 頏 ず、 もの さ h 談 ります。 \mathcal{O} 抱え込ま 労 てくださ 働 条件 0 ず、 寸

人で 1)

しし

向 が

国労西日本本部 **NO. 392**

発行責任者 植田 重信 編集責任者 大北 真也

国労西日本HP





Τ

国労西日本

TUNAG

登録は西日本

に伝えたいことコー

人権を守れ!ハラスメントの無い会社にしよう!

このがかれている。

師教

がりと見

事なことです。こ見て判断する

て判断すること

自分の意志でしっ

なくても

61

しし

ちと

共に

安

\[\]\

して

き 私

た

5

れる職

をつくり

ろ 志

加決

められ 入し

います。

も \mathcal{O} 組 働

ち

に合

入あ

すり

かすが

自ど

分 の

意 合

ま は

に

複

数

 \mathcal{O}

労

意志で決めよう

加 が

る

すに月 ロまり す最 日少 色 S 回・売足 がいる。 がいる。 でででははは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でできる。 できる。 、 できる。 で。 できる。 できる。 できる。 で。 ・時をが 、間運始 ッタ つはんP線 た生なCの \Box も つ こ成事に進繋にんま やら 決 良導中夕前こたのるト下負有音びい入央ルでをり力とラや担・声ののを教しし集、バのブ健軽更であ とAが知歩がアでっはI直り、っク熱て $\overline{}$ すい て ま いパ書 す。まット 大がぐたデたセ戦い

そ で争 ば ビ 決 5 わ は 10

れ

た自民

党総裁選

に

は

携

の

立

候

補が

あり

ま

10

月

4

日投開

党票で行

な

人で争われ

た総裁

川

鷹之氏、

充

高市

新総裁が述べたの

は

破総裁の退任表明 で話題

初

ത

女性首相誕生

か

とを 民 8 9 月 7 党 る 表明 総 た ・日に石 裁 の 職を辞する 破総 新 総裁 裁 を が

てで りでした。 \mathcal{O} 61 れ う事 る 誰 の 間 が 話 テ \mathcal{O} ば 選 題 か V



民

数 ま せることに す。 多 携 党 \mathcal{O}) 為**、** 61 \mathcal{O} • 公明 もちろん 協 議 を行 党の なり 部 \mathcal{O} 野 与 ま 野 <新 党

交代も行なわ し て選 た め 出 ħ ਰ 野 なって ま れ 党 を発足 党との 党は ਰ ば が 政 全 \mathcal{O} 方 少 さ い

挙を受 を開 相指名選 臨 時国 き首 後、 会 け

内 閣

出

裁

ヤ

ワー ランスという 働 を捨てる、 車 クライフ \subset 61 \mathcal{O} ただく、 ように

す

1

いるのではない

C

ょう

戦

争

衛

費 す を良くすることを望

h

て

 $\overline{}$

61

述べています 言

とは違う り、 う こと をうみます は か。 玉 民が望んでい 働 で うのではないで 国民が望 きすぎて あ な h

バ 大事 ラン ラ 1 ワ ス

は 過 労

る C こと 61 しょ る 死 を尽くすべきです。 か。 を上げることよりも、 る国づくりの為に防 り と経済の回復に 戦 争できる

全

力

しっ

を期 ます る 向けた明 未来 61 待 政 治 に

て不安しかない

働 て 働 61 61 ワ う $\overline{}$ て参る」 働 クライフバ 葉を捨てる て働 と言 いて働

 \mathcal{O}

は

経

済を立て直

生

せて自民党を明 いうことを 安を希望 $\overline{}$ 61 全 員 力

の 票

結

果、

高市

氏

が

川

泉

を合

氏を破り

第 29

党

に わ 氏 て

する、

不

新総

≅裁とな

9

史

全初の

女

選出とな

述

べられました。 束を守ると 変える党にし

全員に働

いていただく

が

行なわ

れ

ま

た。

石

破 ま

 \mathcal{O}

感謝

た

候 わ

補

者

が

11

な 数 氏 高 茂

か を \mathcal{O} 市 木

った

C

は、

川

泉

進

次郎

名

5 後

れ

過半

獲 5

得

た 述

挨 Λ,

拶

林 林

芳正

氏

早 敏

苗

選

出

上

位2名による決

選

 \mathcal{O}

がん保険の枠を超え、一人ひとりに最適な安心を





(募集代理店)(アフラックは代理店制度を採用しています)

アベニール株式会社 〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5交通ビル3階 〈引受保険会社〉 「生きる」を創る。

アフラック 法人第二営業部 〒163-0456 東京都西新宿 2-1-1新宿三井ピル20階 Tel.03-6385-9829

6